

総会報告

平成19年5月18日(金)午後3時30分より、神戸市産業振興センター会議室にて、兵庫県支部第48回通常総会が開催されました。

出席者47名、委任状69名の計116名の参加で総会は成立し、18年度の事業報告及び収支計算と19年度の事業計画及び収支予算が共に満場一致で承認されました。

●18年度の事業結果の概略は以下の通りです。

- ①.会員数は平成18年度初頭の185名から19年度 初頭には193名と増加しました。これは「開かれた兵庫県支部」と活発な「委員会活動」の成果で、兵庫県支部の魅力が高まり、他支部からの転籍者も含まれています。
- ②.能力向上のための各研究会は活発に活動し、18年度は新たに農業経営研究会が発足し、他の研究会や研究事業も合わせると60回以上開催されました。
- ③.受託事業拡大のために受託開発センターを設置し、受託業務では公的機関、民間含めて述べ277名が事業参加されました。
- ④.診断士制度の改正に伴い診断支援委員会を立ち上げ、プロコン育成塾に実施や県中小企業団体中央会での相談会・指導員同行、支部独立診断士に実務 同行等に29名参加し計139ポイントの実務ポイントを創出しました。



平成19年度は「中小企業診断士及び中小企業関係者にとって、なくてはならない魅力ある兵庫県支部、特色ある兵庫県支部づくりを目指す」の基本目標の元に以下の方針で事業が推進されます。

- 会員の資格維持への支援内容充実(更新支援研修、診断実務ポイント確保)
- 診断士の能力向上のために会員研修の更なる充実
- 委員会活動の内容の充実
- 診断士の実践機会拡大のための受託開発センターの前進
- 面白い支部にむけてFOCUS
- 員事業では特に更新支援メニューの開発や受託事業の拡大、情報の共有化を推進し、あわせて新たな会員サービスの導入を検討します。

受託事業等では受託開発センタールールに基づき、各行政機関及び民間企業への受託拡大を図っていきます。現在兵庫県支部には「神戸の経営活性化研究会」、「地域産業活性化研究会」、「診断技術向上研究会」、「経営法務研究会」、「医療福祉経営研究会」「農業研究会」、「BSC研究会」、「ひょうごオンリーワン総研(HOO)」、「企業内診断士活性化研究会」等の種々の研究会活動が行われております。皆様の参加をお待ちしております。